建設緑政局関係議案資料

議案第73号

令和2年度川崎市一般会計補正予算について

建設緑政局

令和元年東日本台風による河川関係の浸水に関する補正予算対応

1 補正予算対応について

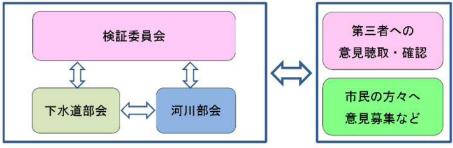
(1) 令和元年東日本台風による浸水被害の概要

- ・令和元年10月11日(金)から「令和元年東日本台風」の接近に伴い、多摩川流域全体の広範囲に強い雨域がかかり、山梨県、東京都、神奈川県を中心に大雨となった。
- ・多摩川では、田園調布(上)水位観測所(大田区)等で既往最高の水位を観測するなど、計画高水位を超過した。
- ・そのような状況の中、3地域において支川や水路の水位も上昇し、合計25haの浸水被害が発生した。



(2) 令和元年東日本台風の浸水に関する検証

・令和元年東日本台風の浸水被害を受け、検証委員会を計4回開催し、<u>浸水状況等を検証し、次の台風シーズンまでに短期対策を実施すること及び中長期的な対策の方針等</u>について確認し、取りまとめたもの。



検証委員会の構成

(3) 補正予算の考え方

『令和元年東日本台風の浸水に関する検証』を踏まえ、今年の台風シーズンまでに対策を講じるための「短期対策」の実施及び「中長期対策」に向けての検討を進めるための費用について、補正予算を計上するもの。

2 補正予算の概要について

(1)補正予算額

(単位 千円)

	当初予算	既補正	補正額	補正後
建設緑政費	44,438,502	0	393,000	44,831,502
区役所費	17,524,926	0	53,000	17,577,926
合計	61,963,428	0	446,000	62,409,428

(2)歳入歳出予算

(単位 千円)

事業名	事業費	特定財源 (市債)	一般財源	補正内容
河川維持補修事業費	383,000	273,000	110,000	河港水門134,750・扉体の嵩上げ工事など平瀬川234,750・パラペット護岸の改良工事など三沢川13,500・土のうステーション設置費用など
河川計画調査事業費	10,000	0	10,000	3地区共通 10,000 ・防災ワークショップ開催に向けた 費用など
水路整備事業費 (多摩区)	53,000	20,000	33,000	三沢川接続水路 53,000 ・水路改修工事など
合計	446,000	293,000	153,000	

(3)地域別の小計

(単位 千円)

地区	事業費	特定財源 (市債)	一般財源	備考
河港水門	134,750	67,750	67,000	川崎区港町周辺
平瀬川	234,750	199,750	35,000	多摩川合流部周辺
三沢川	66,500	25,500	41,000	JR南武線三沢川橋梁周辺
ソフト対策	10,000	0	10,000	3地域共通
合計	446,000	293,000	153,000	

令和元年東日本台風による河川関係の浸水に関する補正予算対応

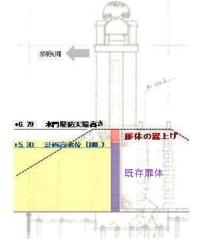
河港水門 (川崎区港町周辺) 補正予算額:134,750千円

(1)短期対策

ア 扉体 (ゲート) の高さ確保: 65,000千円

○扉体の嵩上げ工事

・扉体の嵩上げを実施し、扉体高さを確保



河港水門嵩上げイメージ

イ 京急交差部の閉塞:25,000千円

○防水壁等設置

• 災害時、迅速に設置可能な防水壁等の設置



京急交差部の閉塞イメージ



防水壁(設置事例)

ウ 被害最小化の取組:2,750千円

○土のうステーション設置

• 住宅等の浸水防止用の土のうを迅速に提供するため、 土のうステーションを設置

※土のうの供給方法等について工夫を行う。

エ 水位計、カメラの設置: 2,000千円

○水位計とカメラ設置

- 水門付近の河川水位の状況をリアルタイムに把握できるよう、 水位計やカメラの設置
- ・ 水位計の情報、カメラの画像は一般に公開する。

水位観測装置 水位計

カメラ・水位計のイメージ

(2)中長期対策

ア 河港水門の中長期対策検討:40,000千円

【中長期対策の方針】

治水機能の向上の観点から、高規格堤防や水門機能の見直し等、今後の水門及び 周辺整備のあり方について、関係機関(国・施設利用者)などと検討を進める。

【河港水門の今後の方向性】

(ア) 水門としての必要性の検討

- (イ) 河港水門周辺の土地活用について の検討
- (ウ) 文化財としての取扱いの検討



平瀬川(多摩川合流部周辺) 補正予算額:234,750千円

(1)短期対策

ア フラップゲートの設置: 1,000千円

○フラップゲート設置(民有地から接続されている22箇所)

早期に実施できるように調整を図っていく。

※市が管理する33箇所について3月中にフラップゲートを設置済

イ パラペット護岸の改良: 180.000千円

○アクリル板設置

平瀬川の堤防からの越水を防止するため、既存パラペットの 補強を実施の上、アクリル板を設置





アクリル板 (設置事例)

ウ カメラ、水位標の設置:4,000千円

○カメラ、水位標設置

- ・平瀬川と多摩川の合流部などに河川水位の状況をリアルタイム に把握できるようカメラと水位標を設置
- 新設したカメラの画像は、一般に公開する。

エ 被害最小化の取組:17,750千円

○土のうステーション設置

住宅等の浸水防止用の土のうを迅速に提供するため、 土のうステーションを設置

※土のうの供給方法等について工夫を行う。

○ポンプの自動化に関する検討

・内水対策用のポンプの自動化に関する検討

防災土のラステーション

フラップゲート(設置事例)



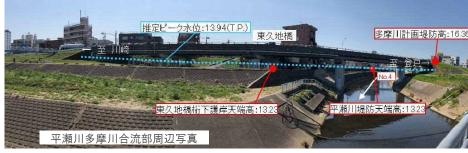
土のうステーション (設置事例)

(2)中長期対策

ア 多摩川合流部の中長期対策検討:32.000千円

【中長期対策の方針】

・令和元年東日本台風では、多摩川において計画高水位を超える状況の中、平瀬川(多摩川との 合流部)においても水位が上昇し、平瀬川の堤防等から越水したことを踏まえ、多摩川との合 流部における平瀬川の堤防嵩上げ等の機能強化などについて、国及び県、川崎市が連携して対 策の検討・調整を行う。



令和元年東日本台風による河川関係の浸水に対する補正予算対応

5 三沢川(JR南武線三沢川橋梁周辺) 補正予算額:66,500千円

(1)短期対策

ア 水路の補修や管理等:20,000千円

- ○水路の流下能力向上工事
- ・水路の浚渫、清掃を行い、適切な維持管理を実施
- ・水路の流下能力向上に向け改修工事を実施

イ 水位計、カメラの設置:8,000千円

- ○水路へカメラ、水位計設置
 - 水路水位の状況をリアルタイムに把握できるよう、 水位計やカメラの設置
 - ・水位計の情報、カメラの画像は一般に公開する。



カメラ・水位計のイメージ

ウ 被害最小化の取組:13,500千円

- ○移動式ポンプ導入
- ○土のうステーション設置
- ・住宅等の浸水防止用の土のうを迅速に提供するため、土のうステーションを設置 ※土のうの供給方法等について工夫を行う。



移動式ポンプ機(設置事例)





土のうステーション(設置事例)

(2)中長期対策

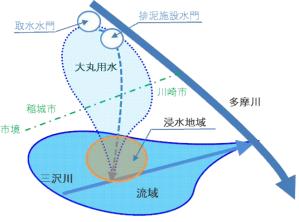
ア 水路網調査、内水対策検討: 25,000千円

【中長期対策の方針】

- ・中長期対策の基本的な方向性としては、**浸水地域** の雨水処理負担を軽減させることを第一とする。
- (ア) 水路網調査

(イ)内水対策検討

- 流入量の削減
- 流下能力、排水能力の向上
- 稲城市等に対する要望
- ※当該地域は、三沢川と水路(大丸用水等)の流末 地点に位置しており、更に三沢川と多摩川の合流 点部分でもあり、多摩川の水位上昇の影響を受け 浸水被害を発生させたと考えられる。

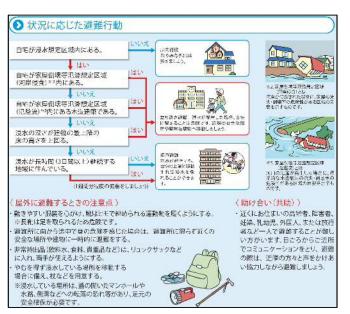


浸水地域の雨水処理イメージ

5 ソフト対策(全3地域) 補正予算額:10,000千円

(1)中長期対策

- ア 地域防災力向上の取組に向けた検討・実施:3,000千円
 - ・行政から情報提供を受けた地域住民が、正しく情報を理解し避難を行うためには行政側からの 発信内容を分かりやすいものにするとともに、住民一人ひとりの関心を高める取組が必要である。
 - そうした取組を関連部署と検討し、町内会や自主防災組織等の地域と連携して取組を進めていく。
 - (ア) 町内会等を対象としたワークショップの開催
 - ・地域を限定したワークショップ等を開催することで、水害リスクを周知する取組を検討し、 実施する。
 - (イ) 防災フェア等のイベントにおける普及啓発活動
 - 防災フェア等の地域住民が参加するイベントにおいて、 洪水ハザードマップ説明会の開催や資料配布等による、 普及啓発活動を検討し、実施する。





イ 地域毎の避難勧告の発令等に着目したタイムラインの策定に向けた検討: 7,000千円

- ・以下の項目に取り組んでいく。
- (ア) 地域の状況に応じたタイムラインの作成
- (イ) リードタイムを考慮した避難を呼びかける基準水位の設定
- (ウ) 避難誘導先と避難誘導経路の検討

7 今後の予定

